

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ~ +85℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-40℃ ~ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50Ω (0 ~ 6 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト mΩ以下 外部コンタクト mΩ以下	—	—
	絶 縁 抵 抗	DC 100Vで測定する。	500 MΩ以上	○	—
	耐 電 圧	AC 250Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
	電 圧 定 在 波 比	周波数 0.045 ~ 6 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下	○	—
	挿 入 損 失	周波数 ~ GHzにて測定する。	dB 以下	—	—
機 械 的 性 能	単 体 挿 抜 力 (HRM側)	φ0.9017 ⁰ _{-0.0025} の鋼製ピンで測定する。	差込力 N 以下 引抜き力 0.3 N 以上	—	○
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	差込力 N 以下 引抜き力 N 以上	—	—
	繰 り 返 し 動 作	500 回の抜き差しを行う。(HRM側) 10000 回の抜き差しを行う。(W. FL2側)	① W. FL2側可動ピンの動作が正常であること。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 ~ Hz, 片振幅 mm, 加速度 m/s ² で 軸方向各 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	耐 衝 撃 性	加速度 m/s ² , 持続時間 ms, 正弦半波 軸方向各 回試験する。		—	—
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。	—	—
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 ~ °C, 湿度 ~ %中に サイクル(時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	温 度 サ イ ク ル	温度 → → → °C 時間 → → → 分 を サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
Q					
備考			承認	MH.YAMANE	06.06.22
R o H S 指令 適合品。			検 図	NK.NINOMIYA	06.06.22
			担 当	YK.YASUMURO	06.06.21
			製 図	TS.SAWAI	06.06.19
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-312900-80	
HRS	製品規格表		製品名	HRMJ-W. FL2P-ST3	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL311-0417-0-00 0/1	